

㈱茨城県中小企業振興公社の「ものづくり産業活性化プロジェクト事業」及び「マグネシウムプロジェクト事業」を活用し、販路拡大等に成功した㈱ヤハタをご紹介します。

緻密な技術を駆使する磨きの職人集団



㈱ヤハタ

【会社概要】

- 代表者 増淵 一夫
- 住所 筑西市新治 1994-13
- 設立 昭和 39 年 2 月
- 電話 0296-57-3456
- F A X 0296-57-3458
- e-mail info@kk-yahata.co.jp
- U R L <http://www.kk-yahata.co.jp/>

㈱ヤハタは、日本人が培ってきたバフ研磨などの精密な磨き加工の技術を伝承し、未来へとつながる新たな磨き技術開発のため、日々技術向上に努めている。

昭和 39 年、カメラ部品のバフ研磨加工工場として創業した同社は、その加工技術を売りに徐々に加工分野を広げ、今では、カメラボディをはじめ、レンズ筐体、自動車部品、音響部品、釣り具等、様々な分野の磨き加工、バリ取りを手掛けている。

特に難削材と呼ばれるマグネシウムダイカストやアルミニウムダイカスト部品の加工では、極めて精密な仕上げ加工に定評があり、他を寄せ付けない優れた技術を保持している企業だ。

同社が得意とする加工技術のひとつがアルミニウムダイカストのアルマイト処理後の光沢加工である。



アルマイト処理を施した同社製品

アルマイト処理は、耐食性、耐摩耗性を改善させるとともに様々な色調を与えることができるため、塗装処理が不要となる等、作業の効率化にもつながる技術であるが、光沢感のある製品を量産するのが

難しい技術でもある。同社は、日々研究を重ね、光沢加工を施した製品を量産する技術を確立。丈夫で傷つきにくく光沢感のある高品質な製品を短納期、低コストで納品することに成功した。



磨き作業風景

茨城マグネシウムプロジェクトにも参加している同社は、この技術をマグネシウムやチタン等、他の材質にも応用したいと考えており、技術的な研究を進めているが、マグネシウム等の表面処理に関するニーズ自体が広がらないという課題を抱えていた。

こうした中、機械要素技術展茨城県ブースでの同プロジェクトのPRをきっかけに、当会社のビジネスコーディネーターを仲介として、マグネシウム部品加工の新規取引が成立。今後、同取引を継続するとともに、表面加工まで範囲を広げたいと考えている。

「今の技術（磨き）を広げ、あらゆるユーザーのニーズに応えて行きたい。」

さらなる高みを見据え、磨きの職人集団は研鑽を重ねる。